

教育委員会委員が決まりました

6月市議会定例会において、岡野尋実さんが議会の同意を得て、教育委員会委員に任命されました。
任期は、平成33年6月までの4年です。



おかのひろみ
岡野尋実さん

指定管理者を募集 かぶら聖苑

かぶら聖苑の指定管理者を募集します。詳しくは、市民課市民生活係で配布する「募集要項」が市ホームページをご覧ください。

募集受付 9月12日(火)まで(土・日曜日、祝日を除く)
選定方法 選定委員会で選定(応募書類の審査とヒアリング)
現地説明会 8月18日(金)、午前10時～正午
応募方法 正本1部、副本(複写可)7部を、市民課市民生活係へ直接持参
問い合わせ 市民課市民生活係
(あい愛プラザ2階、☎62-8362)



施設名称 富岡市斎場「かぶら聖苑」(上黒岩318)

市内の歴史的建造物(第6回)

葦塚直次郎製糸場跡 6

写真(4月号掲載)で見る平屋建ての部分(線糸所)で、ここにフランス式36釜(36人線り)の製糸器械を設置したと文献には記されています。

富岡製糸場では線糸後に汚れた水を流すため、床面に溝を作って排水してました。葦塚製糸場も床面が煉瓦と漆喰で固めてあるので同じはず。そこで床面の遺構を調べると、写真に見られるように建物の中央より南側に東西に向かって煉瓦と漆喰で構築した排水溝が1本だけ確認できました。中央でないのは採光のためと考えられます。建物や製糸器械の規模からみて排水溝は2本、つまり製糸器械を2列にしなければ36釜は設置することができません。1列では最大でも24釜の設置がやっとです。このように考えると、文献に記されている36釜を設置したということとは、にわかには信頼できないということになります。ことよると残りの12釜は揚返機あひかえしきの12窓であったという推測もできます。

この36釜を設置したという原典は、すでに触れたように1903(明



治36)年9月に群馬県内務部が発行した「群馬県蚕糸業沿革調査書」で葦塚製糸場設立から30年近く経っており、なおかつこの製糸場は数力年で閉鎖していますので十分な資料調査を経ないまま記述したことも考えられます。

このように、発掘した資料を十分に調査吟味する中で正確な事実が導き出されることを期待できるわけです。いずれにしても、今回の発掘調査において貴重な資料が確認できたのは、研究者にとっては尊い財産になるのです。

(富岡製糸場総合研究センター所長兼富岡製糸場名誉顧問 今井幹夫)

お蚕を育てて繭を作ませんか 晩秋蚕

お蚕を飼ってくれる人を募集します。できあがった繭は回収し、富岡製糸場で糸とりの実演などに活用します。養蚕を体験して世界遺産の富岡製糸場を支えてみませんか。3回参加してくれた人には記念品を贈呈します。詳しくは、農政課蚕糸園芸係へお問い合わせください。

申込期間 8月21日(月)まで
受渡日
▷9月11日(月)=①午前11時 ②午後3時 ③午後6時
▷12日(火)=①午前10時
受け渡し場所 勤労者会館(富岡379)
※各公民館でも受け取れます。希望者はお申し出ください。
費用 無料
申し込み方法 近隣の各公民館や市役所にあるチラシに必要事項を記入して提出するか、Eメールかファクスで申し込んでください。
※チラシは、市ホームページからダウンロードできます。
申し込み・問い合わせ 農政課蚕糸園芸係(行政棟2階、〒370-2392 富岡1460-1、☎内線1270、☎62-0357、Eメール sanshiengei@city.tomioka.lg.jp)

飼育セットは無料で提供します。

- ▷蚕100頭
- ▷飼育容器(60×40×8cm)
- ▷ボール族まぶし
- ▷人工飼料

地域づくりピクニック

上原隊員(地域おこし協力隊)オリジナルブランド設立へ本格始動

平成28年4月から地域おこし協力隊として活動中の上原さんが、自身が製作した製品を扱うホームページをオープンさせます。

上原さんは、「養蚕から織物まで」を活動のテーマとし、自ら養蚕を行いつつ、地域おこし協力隊活動拠点(大丸屋)のタペストリーなど、絹製品の製作を進めてきました。活動の最終目標としてオリジナルブランドの設立を掲げており、今後、随時ホームページで公開と販売を行う予定です。ブランド設立に向けた上原隊員の活動にご期待ください。

上原さんのホームページ

(<http://studioshira.com/>)



大丸屋の内覧会で近所の人と談笑しながら作業中



オリジナルブランド設立のために日々奮闘中

次回の軽トラ市 高瀬地区

日時 8月20日(日)、午前10時～午後2時(販売物品がなくなり次第終了)
会場 城町通り北広場(富岡製糸場前通り)
内容 カキ氷、地元の野菜を使った冷や汁の販売